

報道関係者各位

2023年8月28日

福井コンピュータアーキテクト株式会社

業界初※！3D 建築 CAD とデータ連携ができる現況調査アプリ『りのべっち』 2023年9月25日（月）リリース

～リノベーションアプリの決定版がついに登場！いつでも・どこでも・簡単にモバイルワークを実現！～

福井コンピュータアーキテクト株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役 CEO：田辺 竜太）では、リノベーション業務を省力化する iPad/iPhone アプリ『りのべっち』を2023年9月25日（月）にリリースいたします。

建設業の働き方改革が注目される中、さまざまな業務において労働時間短縮に向けた取り組みが求められています。『りのべっち』はリノベーションの現況調査で、現況図作成や現況写真撮影などを直感的に行って大幅な省力化を実現、3D 建築 CAD システム『ARCHITREND ZERO』とのデータ相互連携も可能です。リノベーション業務におけるモバイルワーク支援としてユーザー様の生産性向上を支援してまいります。

※自社調べ。調査年月（2023年8月）。「3D 建築 CAD」と現況調査アプリがデータ連携できるという点において、同じカテゴリの他社製品機能を調査した結果による。

【アプリの特長】

- ◇ 場所・時間を選ばず誰でもすぐ使えるので、外出先の現場でも正確かつスピーディーな調査業務が行えます。
- ◇ Apple Pencil を使って『手描き感覚』によるシンプル操作で現況プランをすばやく・正確に描き上げることが可能です。
- ◇ 3D スキャン（LiDAR 機能）から現況プランや立体モデルを自動生成、画期的なモデリング手法にも対応しました。
- ◇ りのべっちデータをアップロードして ARCHITREND ZERO に自動変換。各種設計業務に連携できます。



【リリース日】

- ◇ 2023年9月25日（月）

【提供形態】

- ◇ Apple 公式ストアで無償公開。アプリ単体はどなたでも無償でご利用いただけます。
- ◇ ARCHITREND ZERO データ連携には ARCHITREND ZERO Ver.10 リノベーションオプション
ならびに 3D カタログ.com の有料サービス契約（B 会員）が必要です。※データ連携は2023年10月対応予定。

【動作環境】

- ◇ iPad Pro<第1世代以降> / iPad Air<第3世代以降> / iPad<第6世代以降> / iPad mini<第5世代以降>
- ◇ iPhone 8シリーズ / SE<第2世代以降> / Xシリーズ / 11シリーズ / 12シリーズ / 13シリーズ / 14シリーズ
- ◇ 対応OS : iOS / iPadOS 15/16

※スキャン機能はLiDARを搭載するiOS/iPadOS16以降のデバイスでのみ利用いただけます。※iPadOSデバイスではApple Pencilの利用を推奨。

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータアーキテクト株式会社 営業推進課

福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 <https://archi.fukuicompu.co.jp/products/architrendzero/index.html>

Tel : 0776-67-8850 問い合わせフォーム : <https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

■ リノベーション業務のさまざまなシチュエーションで活用

iPad/iPhone ならではの携帯性で社内外を問わずさまざまなシチュエーションで活用できます。営業マンや設計スタッフ、施主様まで含めたプレイヤーが運用することで、現況調査だけでなく初期プランニングやコーディネート の省力化、施主様へのご提案やコミュニケーションを促進できます。

現況調査	設計・コーディネート	リノベーション提案	一般消費者（施主）
外出先などで手軽に使えるので現況調査の現場でもフル活用	エスキスしながらリノベ設計などのCAD 入力を省力化	CAD データを「りのべっち」に取り込んでリノベイメージを提案	施主様自身が思い描くリノベイメージや要望などを具現化

■ 現況調査の業務フローに沿った直感性と利便性

線を引ながら部屋や部材を入力したり、手書き文字を認識して部屋名を設定するなど、あたかも紙に手書きしているような「直感性」でマニュアルなしですぐに使える「利便性」を実現。入力プランを瞬時に 3D モデル化して形状や面積を確認したり、撮影した現場写真やカタログ画像を図面に並べてレイアウトなども可能です。



現況図や 3D モデルをまとめて調査報告書として PDF 出力が可能。SNS 共有するなどして施主様へ速やかにご提示できます。

■ 画期的な現況調査を実現！3D スキャン機能

LiDAR 機能による 3D スキャンに対応。デバイスをかざして部屋の壁線をスキャンしてだけで寸法情報を持った部屋全体の 3D モデルと間取り図を自動生成。劇的に計測・作図の作業手間を省力化できます。

※3D スキャン機能は LiDAR を搭載する iOS/iPadOS16 以降のデバイスでのみご利用いただけます。



現場を3Dスキャン 3Dモデル確認 間取り自動作成 寸法調整

■ 下図取り込み機能で既存図入力もスムーズ

既存建物の図面（PDF・写真・紙）を下図データとして取り込み。寸法を設定して縮尺を持たせることで、下図を参照しながらトレースしてスピーディー且つ正確に現況図の作成が可能です。



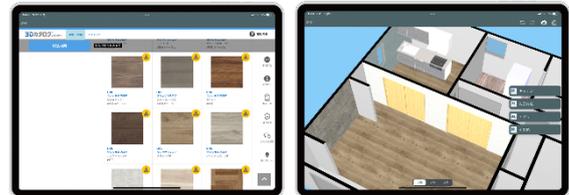
■ ARCHITREND ZERO や 3D カタログ.com と連携させて活用シーンを拡大

「りのべっち」で作成したプランデータをクラウド（ARCHITREND Drive）にアップロードして ARCHITREND ZERO の CAD データに自動変換。そこからフォトリアルパースや積算・見積などに展開して現況調査からリノベーション設計までスムーズな業務フローが実現できます。さらに、ARCHITREND ZERO データを「りのべっち」に取り込めるので、OB 客などのリノベーション提案でも活用できます。

※データ連携には ARCHITREND ZERO Ver.10 とリノベーションオプションならびに 3D カタログ.com 有料サービス契約（B 会員）が必要です。（連携は 2023 年 10 月対応予定）



さらに、「りのべっち」上で 3D カタログ.com サイトの呼出しが可能。壁材や床材、建具・住設機器などの実建材コンテンツを「りのべっち」の 3D モデルに反映させてリアルな建材イメージを表現することで建材コーディネートでも活用できます。



姉妹アプリ「まどりっち」のご紹介

2020 年にリリースした間取り作成アプリ「まどりっち」は累計ダウンロード数 15 万件を突破（2023 年 7 月時点）。住宅関係者だけでなく一般の方までたくさんの方々から操作性・機能性に高い評価を頂いており、そのノウハウを継承して今回の「りのべっち」は誕生いたしました。



※文中の掲載画面は開発中のものであり、実際とは異なる場合があります。